

洗浄温水加熱プロセスでのCO₂削減

循環加温ヒートポンプ

出湯温度：40~75℃

加熱能力：40kW/台
(最大50kW)

寒冷地仕様標準装備

型式) EQA401 ※耐重塩害仕様：EQA401S



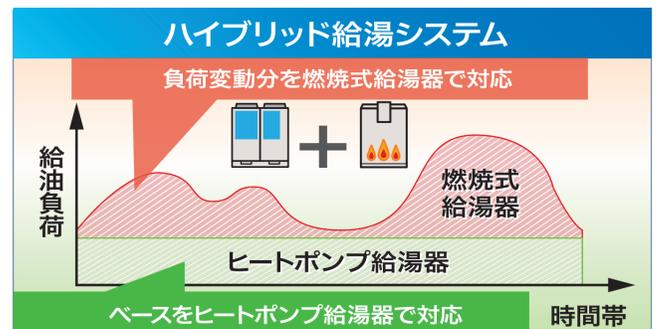
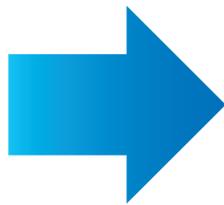
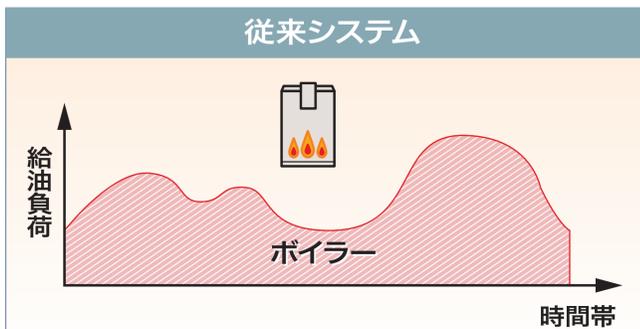
日本初※
R454C
冷媒採用

※2018年
2月現在
(当社調べ)



ハイブリッドシステム

ハイブリッドシステム = **ヒートポンプ** + **他の加熱方式(ボイラ、電気ヒータ等)** の組み合わせ



ハイブリッドでのメリット

- 設備の省エネ性向上
- 瞬発力のある燃焼式で負荷変動へ対応
- 工場運営の変動など予測できない負荷へ対応
- 工場運営の変動など予測できない負荷へ対応
- 万が一のトラブル時へのバックアップ対応

ALLヒートポンプ方式との比較

- 1** 高温へ対応が可能
- 2** 投資コストを抑える事が可能

導入事例

納入実績 | お客様名: 某大手食品製造工場様

使用用途: 洗浄用温水 (温度 38℃)
導入機器: EQA401 1台 (2019年導入) + 既存LPG温水ボイラ

メリット試算

年間省エネルギー効果



年間CO₂削減効果



システムの特徴

洗浄用温水等の加温/保温でボイラと並列にHP機を接続します。
設定温度に差を持たせて、HP機の稼働率を大きくし、省エネを図ります。

